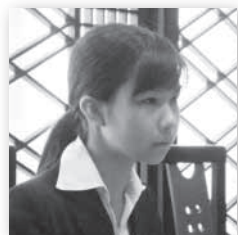


経営者に 聞きました!

このコーナーは、学生が県内企業の経営者を訪問し、企業の経営実態や求めている人材等について直接聞き取ることで、学生と企業の相互理解を促進し、雇用のミスマッチ等を解消することを目的としております。

学生企業レポート 第8回

▶ 第8回目となる今回は、山梨県立産業技術短期大学校 観光ビジネス科 2年 小田千紗都さんが、株式会社談露館 専務取締役 中澤 大氏を取材しました。



学生

山梨県立産業技術短期大学校
観光ビジネス科

2年 小田千紗都 さん

老舗ホテルの 魅力を活かして

経営者

株式会社 談露館
専務取締役

中澤 大 氏



▶ 学生

まず、御社の歴史と特色を教えてください。

▶ 経営者

当社は昨年の10月に創立125周年を迎えました。創業当時の1887(明治20)年は甲府がまだ市になる前で、有栖川宮様が山梨にお越しになる際の皇族宿泊所として、建物をご提供したのが当社が開業した契機です。その後は数々の政府関係や芸術関係の方々にもご利用いただき、1965年には近隣の宿と合同で温泉を掘削しました。1980年には旅館から現在のようなベッドスタイルのシティホテルへと改装し、現在に至っています。

特色としては、宿泊施設としてはもちろん、レストランやブライダル、宴会場なども含めたライフスタイルに合わせた全てのイベントに対応できる施設になっています。また、シティホテルでありながら源泉を持っているため、温泉好きの方からも高い評価をいただいております。

▶ 学生

次に御社が求める人材像をお聞かせ下さい。

▶ 経営者

優しさ・想像力・行動力を持ち合わせた方です。これらは全てのサービスの基本であると思います。ホテルはお客様第一の商売であり、一見華やかに見えますが、裏では気力や体力が必要となる仕事です。想像力を豊かに、お客様が求めていること、先を読んだサービスの提供が大切で

す。また、優しさがなければ何を求めているのか、困っているのかなどに気づくことが出来ません。ホテルでは即戦力を求める傾向もありますが、やはり大事なのはやる気、行動力だと思います。

コミュニケーション能力も重要です。お客様とのコミュニケーションの大切さと言うまでもありませんが、従業員同士のコミュニケーションも大切です。ホテルの仕事は各セクションごとに分かれています。だからこそセクション同士の繋がりが重要になります。特に当館ではセクション同士でのダブルチェックを徹底するよう心掛けており、先程お話しした想像力の中には、お客様だけでなく、他の従業員の求めているものを想像する力も含まれています。

▶ 学生

最後に御社の将来像についてお聞かせいただけますか。

▶ 経営者

「地域一番のホテル」と胸を張って言えるホテルになりたいと思っています。甲府のホテルと言えば談露館と皆様

に思ってもらえるようになるのが将来の夢です。そのため日々の細かいことの積み重ねを大切にしています。ホテルは人が商品となり、時間や空間を提供するビジネスであり、お客様には“物”ではなく“思い出”が残ります。その中でどうやったら素敵な時間や空間をご提供できるかと言うことを、スタッフにも意識してもらいたいと思っています。

また、地方都市型のシティホテルとして、婚礼にもより力を入れていきたいと考えています。当館で3世代続けて結婚式をあげていただいたお客様もいらっしゃいます。婚礼はお客様との長いおつきあいにもつながっていきますので、そのためにも特に30代前の若い年齢層の方々の認知度をもっと高まるように力を入れていきたいと思っています。

歴史の中で培ってきたサービスと評判をいただいている料理は自信をもってご案内できると思います。また、リピーターのお客様や新規のお客様などそれぞれにあったサービスや対応に今後も精進していきたいと思っています。



取材を終えて…

普段、経営者の方から直接お話を聞く機会がないので、緊張しましたが、貴重な経験することが出来ました。また経営者としてのお考えを丁寧に分かりやすくお話ししていただけたので、内容もとても良く理解することが出来ました。お話の中には私が今後の生活の中で大切にしなければいけないことがたくさんありました。今回の取材で学んだことを忘れずに、今後も努力していきたいと思っています。ありがとうございました。